



少林寺

拳法は“人づくりの行”

強く・優しく・

礼儀正しく・自分を変える修練



幸田町少林寺拳法協会 指導者に聴く



会長 吉岡 修さん



理事長 須原 清俊さん

幸田町での少林寺拳法は地域の人の要望を受け、35年前に始めました。

少林寺拳法は修行を通じて人間性を高め、自他ともにより良い人生を送ることを目的としています。

強くなれば「いじめられる」ことも無く、他人を思いやる心を持つことも無く、人を思いやる心を持つことは「いじめられる」ことも無く、クラスで、職場で、地域でリーダーとして多くの仲間と共に楽しく頑張れる人を少林寺拳法の指導により育てることに今まで、またこれからも活動していきます。



親子拳士

私たちは、開祖（宗道臣）の言われた「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」の教えを守り、社会の福祉に貢献できるように、みんなで頑張るって修行してまいります。

活動紹介

会員数 55人

小学生 25人 中学生 15人
高校生 5人 社会人 10人

修練日・場所

毎週日曜日 幸田中学校武道館
毎週火・金曜日 岩堀公民館

小学生低学年で入会して頑張れば、小学生で初段黒帯が締められます。昨年実績で小学校卒業の8人全員初段合格、中学3年生4人が二段合格、社会人2人が三段合格と常に目標を持って、「強く、優しく、礼儀正しく、自分を変える」べく修練に励んでいます。

会員には67歳の高齢者も在籍。健康のために入会、週3日の修練も休まず頑張っており、目標は初段黒帯です。

また、親子拳士も4家族いて楽しく修業しています。

毎週の修練の他に

4月 県青年の家で合宿
5月 開祖（宗道臣）デーでの清掃活動
9月 幸田町少林寺拳法大会
社会貢献活動としてガーナにAEDを送る活動などに取組んでいます。



初段合格の8人



楽しい食事（県青年の家で合宿）

アンケート結果

議会だより

1. 読んでいますか
 - 毎号読む 8人
 - 時々読む 15人
 - 読んでいない 4人
2. 関心のある内容
 - 子育て
 - 定例会
 - 一般質問
 - 教育環境
 - 委員会レポート
 - 予算、公共事業、税金、福祉、駅前整備、観光事業 など
3. 読んで気付いた点
 - 読みやすく色々な情報が分かる
 - 議会の様子が良く分かる
 - 議会のやりとりをもっと詳しく掲載してほしい

町政に望むこと

- 住みよい町づくり、子育てしやすい町に
- 通学路の環境整備
- 体育館・武道館を作してほしい
- 幸田駅前の発展
- 高校卒業までの医療費無料化 など

子どもたちに聞く

1. 楽しい時は
 - 級が上がったとき
 - 仲間と共に練習
 - 難しい技を覚えたとき
2. つらいと思う時は
 - 試験で緊張するとき
 - ない
 - 疲れているとき
3. 入会してよかったこと
 - 黄色帯・初段になって自信がついた。強くなった
 - 新しい友達ができ
 - 我慢強くなった

保護者に聞く

1. 少林寺拳法をやらせようとしたきっかけは
 - 親、兄弟がやっていた
 - 礼儀作法、あいさつがしっかりできるように
 - 忍耐力、精神力を鍛えるため
 - 体力づくりのため など
2. 入会して変わったことは
 - 人の気持ちが分かるようになった
 - 目標に向かって努力する姿が生まれた
 - 礼儀正しくなり、挨拶がしっかりできるようになった
 - 会話する時間が増えた など

仲間と共に練習は楽しい 声をそろえて エイ！



少林寺拳法とは

少林寺拳法は1947年、日本において宗道臣が創始した教え・技法・教育システムによって、自信と勇気と行動力と慈悲心（優しさ）を持った社会で役立つ人を育てる「人づくりの行」です。一人ひとりがまず頼りにできる自己を確立し、人間同士が援けあい、共に幸せに生きるための道を説いています。